

inspection report

参加した生徒に感想を聞きました



田向 結衣さん
(2年・田子)

日本の教育と大きな違い感じた

英語とドイツ語の会話に苦勞し、言葉の通じることの重要性を身に染みて感じました。現地の学校を訪問した際には、日本の教育との大きな違いを感じ、とても興味深かったです。現地の学生ともたくさん交流することができ、研修で得たことを今後の生活に活かしていきます。



冬澤 実奈さん
(2年・寺田)

異文化に触れ、かけがえのない体験

ホストファミリーと夕食を作ったり、マルブルクの名所を案内していただいたりと、ドイツの文化に触れ、有意義な時間を過ごすことができました。10日間の経験は、私にとってかけがえのない体験となりました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



遠藤 瑞穂さん
(1年・星野)

現地の親切な対応で充実の研修

一番の思い出はホームステイ。言語も習慣も違う生活に戸惑いもありましたが、ホストファミリーや現地の先生、生徒の親切な対応で充実した10日間を過ごすことができました。城などの建築物も見学し、ドイツの歴史についても学ぶことができ、貴重な体験となりました。



森 遥奈さん
(2年・田子)

英語力に自信、ドイツ語も学びたい

マルブルクはメルヘン街道の街の一つで、素敵な街並みに感動し、夢のような世界でした。ホームステイは最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、日を重ねるにつれ、会話ができるようになり、英語力に自信ができました。今後、ドイツ語も学びたいと思っています。



星野 紗輝さん
(2年・田子)

表現力を高めることができた

ホームステイを経て、自分の表現力やコミュニケーション能力をさらに高めることができ、外国語のみの生活の大変さと楽しさを学ぶことができました。高校卒業後はドイツ語を学び、マルブルクを再び訪問し、ホストファミリーとドイツ語で会話したいです。



笹川 成龍さん
(1年・新町)

学んだことを進路に役立てる

外国語での会話に、最初は不安と緊張がありましたが、ホストファミリーと生活していく中で、うまくコミュニケーションをとることができるようになりました。ドイツの文化や習慣を学ぶことができ、研修を通して学んだことをこれからの進路に役立てていきます。

with a host family

お世話になったホストファミリーと



〔5〕平成29年1月1日・広報くずまき



①参加した6人の葛巻生(マルブルク城から撮影) ②メルヘン街道の街の一つ、マルブルクの街並み ③ハイデルベルクの街並み ④マルブルク=ビーデンコプフ郡のキルステン・フリュント知事⑤感謝を込めて葛巻神楽の鶏舞を披露したホストファミリーとのお別れ会 ⑥現地の高校の授業に参加し、英語で町や学校の取り組みを紹介した葛巻生



第20回欧州視察 ワインとミルクの旅

初めての体験の数々に

感動と笑顔があふれる

葛巻高の生徒6人が参加
ホームステイで充実の研修

くずまき高原国際交流推進協議会(中崎和久会長)と葛巻高原食品加工(株)主催の第20回欧州視察「ワインとミルクの旅」は、11月17日から26日までの10日間の日程で行われました。

今回の訪問は、中崎和久町議会議員を団長に、葛巻高校の岡田伸一郎教諭が同校1・2年生の生徒6人を引率。このほか、一般視察者2人が参加し、総勢10人の参加者はヨーロッパの旅を満喫しました。

岡田教諭と生徒たちは、ドイツのマルブルク市で、7日間ホームステイをしながら現地の高校の授業に参加しました。生徒は、英語で町や学校の取り組みについてプレゼンテーションしたり、葛巻神楽の鶏舞などを披露。初めての体験の数々に、感動と笑顔あふれる時間を過ごしました。

中崎議長らは、マルブルク市や、デンマークのモルス島で、クリーンエネルギー施設や薪ストーブ会社のモルソー社、北緯50度地域のワイン醸造などの取り組みを視察しました。

広報くずまき・平成29年1月1日〔4〕